

寿康会病院リハ科の特徴 その1

地域の方が末長くご自宅で生活できるよう支援

地域包括ケア病床 / 外来 / 訪問リハビリ



業務量についてスタッフに聞いたところ、90%の方が「業務量が適切」と答えており、自分のペースでゆとりと働くことができます。

在宅生活の支援に特化した病院機能
入院患者様のうち半数以上がリハビリを行っています。地域包括ケアの他には、外来や訪問リハビリも行なっており、患者様の退院後の生活状況も知ることができます。疾患は骨折や脳卒中・難病・廃用症候群、外来では小児など様々です。入院から在宅生活まで、患者様1人1人の人生に寄り添いながら、住み慣れたご自宅・地域で生活を続けていくお手伝いができるのが魅力となります。

寿康会病院リハ科の特徴 その2

地方から出てきても安心して働ける職場環境

ベテランセラピスト / 少人数 / 寮 / 住宅手当

みんなで支え合いながら働くチーム作りを

現在リハビリスタッフは、PT 7名、OT 3名、ST 1名、受付1名の計12名になります。中には経験年数20年以上のベテランセラピストがおり、勉強会や新人教育プログラムだけでなく、仕事の相談をするには頼もしい存在です。また、少人数だからこそ、会話が生まれやすく、業務内容だけでなく働き方や休みの相談もしやすいです。「休みが申請づらい…」ということもないので、ライフワークバランスの調整もしやすいと思います。看護師など他部門との距離も近く、コミュニケーションが取りやすいです。また当院は地方出身者向けに、病院から自転車まで10分のところに寮があったり、賃貸に住んだ場合は住宅手当が付くので1人暮らしでも安心。ちなみに寮からはデイズニールランドやお台場が近く、電車で40分圏内です。



スタッフ同士の仲が良く、業務や知識・技術についても、科内全体の勉強会等で共有しているので、1年目の方でも安心です！

PT 6年目

選んだ決め手は、地域密着型の暖かい雰囲気です。患者様の生活の場が近くにある事で、退院後の生活を想像しやすいです。

OT 2年目



寿康会病院

昭和38年より下町江東区北砂で診療を行ってきました。
患者さんに寄り添った医療を提供し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。

「必ず在宅へ戻す」を合言葉に、 地域に愛される病院を目指しています。

江東区 / 地域医療 / 自宅復帰 / 目標共有

理事長がリハビリテーション専門医ということもあり普段から相談しやすく、安心してリハビリを進めることができます。



病院の目の前にある商店街にはお弁当やお惣菜がたくさんあります。驚きの安さで、コロッケが4個で100円！大型ショッピングモールもすぐ近く。

同じ目標に向けて 皆で協力し合える職場

全床を地域包括ケア病床とし、この地域で住まれる方が安心して長く生活ができるようサポートさせて頂いております。地域包括ケア病床は「60日間」の入院期間の中で在宅復帰を目指しています。働き始めて慣れるまでは、不安や大変と感じるかもしれませんが、同じ目標や期限を共有できるからこそ、他よりも医療職同士の繋がりが強いと感じています。「チームアプローチ」という言葉はあるものの、目的や方法が異なる他職種とはなかなか連携が取りにくいとされています。しかし、当院では少人数だからこそ、全員でカンファレンスに参加できるというのも強みで、患者さんに関することを皆で共有できるため、スタッフ全員で協力し患者さんを診る、という風土も働きやすい点になります。

